

【別添2】（様式例2）

平成30年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛騨高山高等学校

学校番号 58

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 (2) 社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材を目指し、一般教養及び専門的知識や技術を身につけさせるとともに、創造性にあふれ明朗快活で心豊かな人間性を養う。	
2 評価する領域・分野	生徒指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> 生徒及び保護者等を対象とするアンケート結果から「本校では、他者を思いやり、感謝の気持ちを育てる教育が行われている。」（肯定評価の割合：生徒92%） 「本校では、人間としての基本的なモラルやマナーを身に付けさせようと努めている。」（肯定評価の割合：生徒94%） 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 協調性や思いやりがあり、心豊かで規律正しい人間の形成。 (2) コミュニケーション能力を高め、積極的に行動できる資質を養う。 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> 企画委員会を中心に、縦と横の連携を大切にして、迅速かつ適切に対応できる組織とする。 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 登校時に全職員で身だしなみ指導を行い、生徒の情報を共有して、適切な声かけを行う。 (2) MSリーダーズと有志によるボランティアを、自分たちで企画・運営できるように、はたらきかける。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 清楚な身なりが習慣化し、安心して過ごせる環境が保たれていること。（職員、生徒の自己評価） (2) 自主的なボランティア活動が、参加生徒にとって達成感、充実感のあるものであること。（参加生徒の感想） 	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> 生徒の様子を全職員が把握し、タイミングを逃さずに声をかけ、生徒の存在を認める機会を増やすように努めた。 MSリーダーズを中心に、100名以上の生徒が自分たちで企画してボランティア活動を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 自己存在感が高まり、自ら進んで挨拶できる生徒が増加した。 ② 普段の掃除とは違ったやりがいと充実感を感じた生徒が多かった。 	<p>A B C D</p> <p>Ⓐ B C D</p>
11 成果・課題	<p>○朝の玄関での身だしなみ指導と、MSリーダーズによる継続的な挨拶運動によって、正しい身なりと挨拶が習慣化している。</p> <p>○MSリーダーズが、自主的にボランティアを企画・実践することによって、善意の行動が広がりを見せている。</p> <p>▲自主的なボランティアが、校内で行われるものが多く、地域の役に立つ活動はあまりできなかった。</p> <p>▲自転車に鍵をかけるように繰り返し呼びかけたが、施錠していない自転車が盗難に遭ってしまった。</p>	
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> こまめな身だしなみ指導を継続しながら、校則の改正などをきっかけに、生徒同士で学校をよくしていくような活動を促す。 自主的なMSリーダーズの活動が、地域の役に立つ内容になるよう、生徒の自主性を引き出しながらアドバイスや情報提供をしていく。生徒にさらなる満足感や充実感を与える。 	

II 学校関係者評価

実施年月日：平成31年1月25日

【意見・要望・評価等】

- 生徒たちは、外部の者等が学校を訪れると、気持ちよく挨拶してくれる。
- 行事において、生徒が生き生きと活動し、大所帯なのにしっかりと指導されていて、教育が行き届いていると思われる。